

29名の部員紹介

 (3年) 松本 譲 生物資源学部 食品ビジネス学科	 (3年) 陶器 幸一 生物資源学部 生物環境工学科	 (3年) 菅原権太郎 生物資源学部 動物資源科学科	 (3年) 沖廣 諒一 生物資源学部 国際地域開発学科	 (3年) 児玉 光生 生物資源学部 食品ビジネス学科
 (3年) 下谷田 優 生物資源学部 国際地域開発学科	 (3年) 杉田 泰崇 生物資源学部 国際地域開発学科	 (3年) 中村 竜也 生物資源学部 森林資源科学科	 (3年) 森 彩香 生物資源学部 植物資源科学科	 (3年) 伊藤 さら 生物資源学部 植物資源科学科
 (3年) 山口もも花 生物資源学部 動物資源科学科	 (3年) 星野 利佳 生物資源学部 森林資源科学科	 (3年) 大野 葵 生物資源学部 獣医学科	 (2年) 今橋 裕晃 生物資源学部 森林資源科学科	 (2年) 石峰 一騎 生物資源学部 動物資源科学科
 (2年) 大久保貴史 生物資源学部 植物資源科学科	 (2年) 松下 聖弥 生物資源学部 獣医学科	 (2年) 細川映里香 生物資源学部 食品ビジネス学科	 (2年) 渡邊 瑞生 生物資源学部 動物資源科学科	 (2年) 伊藤 遥 生物資源学部 植物資源科学科
 (1年) 逢坂 凌平 生物資源学部 動物資源科学科	 (1年) 吉永 一篤 生物資源学部 生命農学科	 (1年) 加藤 勝 生物資源学部 国際地域開発学科	 (1年) 原 雅貴 商学部 商業学科	 (1年) 大岩 桃子 生物資源学部 動物資源科学科
 (1年) 井上 永久 生物資源学部 獣医学科	 (1年) 本田 成美 生物資源学部 食品ビジネス学科	 (1年) 松井 久実 生物資源学部 国際地域開発学科	 (1年) 仲本 凛香 生物資源学部 生命科学科	

平成28年度
前期行事予定

1月	
●1月1日	初乗り会(日本大学馬術部合宿所)
●1月24日	六会ホースショー(日本大学馬術部合宿所)
2月	
●2月3日~5日	自馬講習会(障害)(JRA馬事公苑)
●2月13日~14日	第36回スクーリング&ドレッシングpart I (JRA馬事公苑)
●2月17日~18日	自馬講習(総合)(JRA馬事公苑)
●2月20日~21日	2月ホーストライアル(JRA馬事公苑)
●2月23日~26日	平成27年度総合馬術強化合宿 第3期 (三木ホースランドパーク)
●2月24日~26日	自馬講習(馬場)(JRA馬事公苑)
●2月27日	第60回三獣医大馬術大会(東京競馬場)
3月	
●3月5日~6日	第47回関東学生馬術新人競技大会(JRA馬事公苑)
●3月12日~13日	第36回スクーリング&ドレッシングpart II (JRA馬事公苑)
●3月23日~24日	3月ホーストライアル(JRA馬事公苑)
●3月25日	卒業式(日本武道館)
●3月25日~27日	平成28年度関東学生春季大会part I (JRA馬事公苑)
4月	
●4月8日	入学式(日本武道館)
●4月8日~10日	平成28年度関東学生春季大会part II (JRA馬事公苑)
●4月19日~22日	平成28年度総合馬術強化合宿 第1期 (JRA馬事公苑)
●4月23日~24日	4月ホーストライアル(JRA馬事公苑)
5月	
●5月3日~5日	第46回JRAホースショー(JRA馬事公苑)
●5月14日~15日	第43回東京都馬術大会(JRA馬事公苑)
●5月20日~22日	第88回関東学生馬術選手権大会(JRA馬事公苑)
●5月27日~29日	第37回全日本ヤング総合馬術大会 (JRA馬事公苑)
6月	
●6月11日~12日	第33回東京ホースショー(JRA馬事公苑)
●6月23日~26日	平成28年度 第50回関東学生馬術三大大会 (JRA馬事公苑)

合宿所・馬場

〒252-0813
神奈川県藤沢市亀井野 840
TEL:0466-81-0288
FAX:0466-81-8885
▶ e-mail : nihonndaigakubajyutubu@gmail.com

MAP



Nihon Univ. Equestrian Team

Vol.22 2016. Spring



更なる高みを目指して 監督 諸岡 慶



本年度も全日本学生馬術三大大会が終了しました。まず初めに、三種目総合優勝することができ、五連覇を達成することができました。これも日頃からお指導ご鞭撻をいただいております、OB及び関係者の皆様並びに、学生のご父母の皆様のお力があってこそだと感じております。感謝申し上げます。大会を振り返ってみますと、三種目総合にて団体優勝はできたものの、決して満足なものではな

く、種目での団体優勝は馬場馬術競技のみでした。障害飛越競技では、二回走行の合計減点が一桁で走行できたのは松本と桜宗のみという厳しい結果となり、松本が個人にて準優勝となったものの、団体では3位と奮起できませんでした。馬場馬術競技では、沖廣に個人連覇という大きなプレッシャーがかかっていましたが見事にはね除け、連覇を達成しチームを牽引する動きを見せました。これにより、過去誰もが為し得なかった個人優勝三連覇に挑戦することが可能になりました。しかし、総合馬術競技では、今橋と桜宗が準優勝をしたものの、団体では3位と悔しい結果に終わりました。以上のように、障害馬術競技と総合馬術競技にて結果が残らず、多くの課題を残すこととなりました。日頃より学生には、「一つ一つの競技を大切にす

果になってしまったのかをしっかりと学生に考え感じてもらいたい。また、あるスポーツ選手が発言した、「目標は他人から与えられても駄目。目標はいつも自分の中から生まれてくるべきなんだ。」という言葉があるように、一人一人が明確な目標を立てて、一回一回の騎乗を大切に練習に取り組んでももらいたい。そうすれば、学生の前向きな気持ちが集まり、太い絆となって自ずと団体優勝という結果がついてきます。これは社会人となって仕事に取り組む場合と同じことです。部は社会人としてのマナーを学ぶ場でもあると考えています。平成二十八年の学生戦を全て勝つことが出来るように、また、本学の過去の記録である全日本学生三種目総合団体六連覇にひとまず並びができるよう、部員、コーチ等が一丸となり精進して参りますので、引き続きご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

日大魂! 5年連続 三種目総合優勝

今年の全日本学生では、馬場馬術競技及び三種目総合の団体優勝を勝ち取ることができ、障害飛越競技及び総合馬術競技では、共に団体3位と昨年よりも順位を上げることができた。初日に行われた障害飛越競技の一走行目では、4人全員に障害減点がついてしまい、この時点で団体得点2位の明治大学、同志社大学との差は3点で総減点20点であった。翌日の二走行目では、他の選手が落下やタイム減点をつけてしまう中、3年の松本と桜宗は見事減点0でゴールを切り個人で準優勝、団体では3位となった。三種目総合団体優勝5連覇をかけて「負けれない」という強い気持ちを部員全員が心に刻み、三日目の学生賞典馬場馬術競技にコマを進めた。規定演技では、4年山田と桜笛、2年渡邊と桜珠は決勝進出に一步及ばず、予選終了時点で1位の3年沖廣と桜憧、2位の3年菅原と桜檜が決勝に進むこととなった。決勝の自由演技では、昨年、惜しくも失権により決勝進出することができなかった桜檜と初めてコンビを組んだ菅原が、最終得点率63.750%で4位という結果であった。そして、沖廣は連覇、桜憧は三連覇がかかった人馬の演技が始まった。大きなプレッシャーがかかる中での演技であったが、圧倒的な強さを見せ、最

終得点率68.625%で見事優勝した。また、昨年果たすことのできなかった馬場馬術競技団体優勝を勝ち取った。この時点で団体得点は立命館大学と1点という僅差ではあるが304点で1位に躍り出た。馬場馬術競技の個人・団体優勝により、部員全員が三種目総合優勝に向けて勢いをつけて最終競技の総合馬術競技に挑んだ。初日の調教審査は、選手や馬の調子が思うように上がらないまま悔しい結果で終わってしまった。気持ちを入れ換え臨んだ耐久審査では、3年杉田と桜準はタイム減点がついてしまったが、団体枠である4人馬はタイム減点障害減点ともに0で終え、上位にくい込むことができた。最後の余力審査では、満点でゴールを切る選手が全体のうち3人のみという難しいコースであったが、2年今橋と桜宗が障害減点を4点にとどめて3位との差23点で逃げ切り、準優勝となった。最終成績は、3年菅原と桜宗が8位、3年沖廣と桜宝が9位、2年渡邊と桜里が13位、3年杉田と桜準が19位で



競技を終えた。総合馬術競技の団体成績は3位という結果で終わってしまったが、三種目総合は2位の明治大学に156.5ポイント差をつけて5連覇を達成することができた。今年は馬場馬術競技で団体優勝を果たし、無事に三種目総合の団体優勝5連覇を達成することができた。これは、競技を全力で戦い抜いた選手はもちろんだが、選手や馬のサポートをしてきた馬付き等の部員全員が同じ目標に向かって一致団結してきたからこそできたことである。来年の全日本学生では、三種目総合優勝6連覇を続け、障害飛越競技・馬場馬術競技・総合馬術競技との競技も団体個人ともに優勝を果たせるよう、部員一同日々精進していきたい。

NU Web

すべてのページへは「日本大学馬術部」のHPからアクセスできます。是非ご覧ください!!

★日本大学馬術部
http://www.nu-equestrian.com

馬術部の事を色々とお知らせしたい!馬・部員の紹介はもちろん、施設の紹介、馬術部の歴史、過去の試合結果や、トライアウトについても全部ここでわかっちゃいます!



★Facebook
競技結果の速報や、日々の生活などを投稿しております。

★YouTube
過去の試合の動画をたくさんUPしています。特に野外走行は必見ですよ!



平成27年度 全日本学生馬術三大大会

第58回 全日本学生賞典馬場馬術競技 **団体優勝**
 第58回 全日本学生賞典総合馬術競技 **団体3位**
 第68回 全日本学生賞典障害馬術競技 **団体3位**

全日本学生賞典馬場馬術競技 **個人優勝**

3年 沖廣 諒一【桜撞】



優勝

最終得点率 **68.625%**

全日本学生賞典総合馬術競技
桜宝 第9位

今回、桜撞で馬場馬術競技、桜宝で総合馬術競技に出場させていただきました。馬場馬術競技では、個人優勝2連覇がかかっており、それを目標に1年間取り組んできました。結果は目標としていた連覇を達成する事ができ、監督、コーチ陣、サポートして下さった方々にはとても感謝しています。しかし、桜宝とのコンビでは、調教審査で思うような演技ができず、余力審査でも落下が重なってしまい悔しい結果となってしまいました。自分の技術不足により桜撞及び桜宝の良さを活かしきれない騎乗ができず、素直に喜べる内容ではとにもありませんでした。最後の年となる来年度は、馬場馬術競技で3連覇を目指し努力し、他の競技においても優勝できるようにしたいと思います。

全日本学生賞典障害飛越競技 **個人準優勝**



3年 松本 諒
【桜宗】

準優勝
総減点 **4**

一走目 減点4
二走目 減点0

障害飛越競技に、桜宗で出場させていただきました。桜宗との出場は二回目で優勝するつもりで臨みましたが、個人で準優勝という結果になり、力不足を痛感しました。しかし、このような結果を残せたのは監督、コーチ、部員、そして桜宗の支えがあったからだと感じています。次回の全日本学生では、障害馬術競技で個人、団体共に優勝をしたいと思います。

全日本学生賞典総合馬術競技 **個人準優勝**



2年 今橋 裕晃
【桜霸】

準優勝

最終減点 **53.3**

3位 調教審査 49.3
3位 耐久審査 49.3
2位 余力審査 53.3

全日本学生という大きな競技会に初めて出場させていただきました。6月に行われた関東学生の総合馬術競技では、桜霸に騎乗し優勝することが出来たので、全日本学生でも優勝する意気込みで臨みました。結果は、優勝には一歩及ばず準優勝でしたが、次への課題を見つけることができました。来年の全日本学生までに課題を克服し必ず優勝します。

活躍した選手たち



3年 菅原 権太郎

全日本学生賞典馬場馬術競技
桜橋 4位
全日本学生賞典総合馬術競技
桜恋 8位



2年 渡邊 瑞生

全日本学生賞典総合馬術競技
桜里 13位
全日本学生賞典馬場馬術競技
桜珠 出場

前 主将からメッセージ

全日本学生では、桜笛とのコンビでの馬場馬術競技に挑みました。昨年よりも差をつけ三種目総合優勝5連覇を成し得たことを、嬉しく誇りに思います。コーチ陣、OB、OG、そして部員全員で勝ち取った勝利です。日本大学馬術部に入部して良かったと今まで以上に強く思いました。新主将の松本ならプレッシャーに負けずに前年より良い結果を残し、最後はみんなで笑っていられるようにできると信じています。みんなの期待を裏切らないように頑張ってください。

4年間大変お世話になりました。ありがとうございました。
(山田 祥貴【前主将】)



新 主将のごあいさつ

新主将としての意気込みは、上級生の行動によって後輩がしっかりついてきてくれるかが決まるので、最上級生であるという意識を高く持つべきだと思います。

今年の目標は、6月の関東学生でしっかりと成績を残すこと。そして、11月の全日本学生で三種目全ての競技で個人団体ともに優勝し、完全優勝にて三種目総合を6連覇することです。

部員一同気を引き締め精進していきたいと思っておりますので、ご声援宜しくお願い致します。

(松本 諒【新主将】)

私たちができる取り組み



六会ホースショー

日本大学馬術部では、大学入学時から馬術を始めた学生を対象として、馬術大会に出場する前に競技に関するルールやマナーを学び、他大学の部員との交流を深めることを目的とする競技会「六会ホースショー」を開催しています。

今年の競技は部班、馬場馬術A2課目、TREC競技、障害飛越競技80cmの4つの競技が行われました。六会ホースショーでは毎年、20以上

の大学の馬術部員が集まって日本大学の馬に乗り、全日本や海外の競技会で活躍されている審判の方々に招いてジャッジをしていただきます。六会ホースショーでは、馬見せや主な競技進行は全て日本大学の部員が行っていますが、障害の組み替えや馬場ラチの撤去などは出場大学の方も含めみんなで助け合いながら競技進行を行います。今年の競技は部班、馬場馬術A2課目、TREC競技、障害飛越競技80cmの4つの競技が行われました。この中でもTREC競技は珍しく、馬の乗り降りから始まり馬を安全に誘導

しコースを一周して戻ってくるという野外競技で、クロスカントリーコースを使用して行われました。そして、表彰式の後に行われた懇親会も他の大学の学生と交流を深めることのできる場となり、有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。毎年六会ホースショーを行えるのは、監督やOB、OGの方々を支えて下さるお陰です。ありがとうございます。今後ともご支援よろしくお願い致します。また、六会ホースショーに参加して下さる他大学の部員のみなさまを応募しているので来年からの参加もお待ちしております！

体験乗馬

日本大学馬術部では、普段「馬」に触る機会のない近隣の子供達を対象に、市の事業の一環として馬術部内の施設を開放し、ふれあい乗馬体験を行っています。個性豊かな馬達と触れ合い、接し方や特徴、馬術というスポー

ツはどのようなものかを教えています。最初は怖がっていた子ども、実際に馬に乗ったり餌をあげたりするうちに、だんだんと心を開き「また乗りたい!」と笑顔で言ってくれる子供が多く嬉しいです。この活動を通じて、馬や馬術の良さを知ってもらい、日本の児童教育や馬術普及に貢献していきたいと思っております。



施設紹介



本馬場

クッション性、吸水性が非常に高い白砂を使用した最高の馬場です。



新厩舎

全部で15馬房あり、中は広くクーラーもついています。



丸馬場

屋根付きの丸馬場では、雨が降っても運動をすることが可能です。



クロスカントリーコース

自然の地形を生かし固定障害を設置しており、競技さながらの練習も可能です。

馬術部員の1日の流れ

開講日	休日
4:20 飼い付け(朝)	4:20 飼い付け(朝)
4:30 ミーティング	4:30 ミーティング
4:40 馬体チェック	4:40 馬体チェック
5:00 朝作業 (水替え・飼い作り) 厩舎掃除	5:00 朝作業 (水替え・飼い作り) 厩舎掃除
5:30 朝食	5:30 朝食
6:00 練習	6:00 全体練習 (コーチによる指導)
7:30 馬の手入れ、ケア	7:30 馬の手入れ、ケア
9:00 午前の講義	10:00 馬の手入れ、ケア
12:10 飼い付け(昼)	12:00 飼い付け(昼)
12:20 昼食(学食など)	12:10 昼食
13:00 午後の講義	13:00 休日作業 (おが取り・馬場整備・厩舎・障害、馬具の修理)
16:20 馬のケア	15:30 馬のケア
17:00 飼い付け(夕)	16:00 飼い付け(夕)
17:10 夕作業 (馬具手入れ・水替え・飼い作り)	16:50 夕作業 (馬具手入れ・水替え・飼い作り)
19:30 夕食	19:00 夕食
20:00 解散	19:30 解散
21:00 宿直(厩舎見回り)	21:00 宿直(厩舎見回り)

■:馬術部の活動 ■:学習 ■:食事・休憩